


維持管理に配慮した構造細目や工夫事例

No.		2-3
基本情報	構造形式	ジャケット式栈橋
	設計年次	平成 22 年(細部設計)
	建設年次	平成 23 年～平成 27 年(予定)
維持管理に 配慮した 構造細目や 工夫	項目	被覆防食(金属ライニング+超厚膜形ライニング)
	検討時期	細部設計段階
	理由・期待 される効果	初期コストは超厚膜塗装が金属ライニングに比べて安価であるが、超厚膜塗装は補修、再塗装といったメンテナンスコストが必要となる。一方、金属ライニングは強度が強く通常使用では損傷することはないことから供用期間中の補修が不要となる。仮に傷がついたとしても錆汁により容易にその箇所が発見でき点検もしやすいため、金属ライニングと超厚膜形ライニングの併用としている。
	主な使用材料	金属ライニング:耐海水性ステンレスライニング 板厚:t = 0.4mm (JIS G 4305 SUS312L) 超厚膜形ライニング:超厚膜エポキシ樹脂 2300 μm
写真		
	被覆防食状況	

